協議第40号

教育関係事業の取扱いについて (その1)

教育関係事業の取扱いについて承認を求める。

平成19年3月1日 提出

熊本市・富合町合併協議会会長 幸 山 政 史

教育関係事業の取扱いについて

- 1 教育関係事業のうち下記の熊本市のみの事業については、新市の事業として継続する。
 - · 就学支援(学級支援員配置·修学旅行特別支援)
 - · 青少年国際·国内交流事業
 - 青少年活動支援事業
 - 生涯学習推進事業
 - 家庭教育推進事業
 - ・ スポーツ振興基金等
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの育成
 - 各種大会(開催)補助金

協議項目	40 教育関係事業の取扱い	小項目名	1 就学支援(学級支援員配置・修学旅行特別支援)
調整方針	新市の事業として継続する		

調査	現 況 調整の具体的内容		
市町名	熊本市	富合町	剛金の米体の行
市町別内容	 ○学級支援員の配置 (概要) 熊本市立小中学校における教育活動が困難な学級に臨時的任用職員を配置し、円滑な学級運営に寄与する。 (配置状況)・配置人数 17 人(18 年度)・配置校 34 校(")・日額 6,160 円 (学級支援員配置経費)平成 16 年度決算 19,992 千円(15 人)平成 17 年度決算 20,123 千円(15 人)平成 18 年度予算 23,543 千円(17 人) ○修学旅行特別支援・修学旅行に保護者が付添う場合に要件を定めて補助金を交付する。 補助額は、就学奨励費の特殊教育諸学校の修学旅行費の付添人への補助に準ずる。 (修学旅行特別支援経費)平成 16 年度決算 (17 年度事業開始)平成 17 年度決算 59 千円(小 3 件、中 2 件)平成 18 年度予算 943 千円 	○該当なし	合併後は富合地域を含む全市域を対象として事業を実施する。

協議項目	40 教育関係事業の取扱い	小項目名	2 青少年国際・国内交流事業
調整方針	新市の事業として継続する		

調査	現	調整の具体的内容	
市町名	熊本市	富合町	調金の共体的内存
	青少年健全育成施策の一環として、国内外の友好姉妹都市及 び九州各都市との派遣・受入交流活動を通じて、親善を深め るとともに、次代を担う青少年を育成するために、青少年交 流事業を実施している。	該当なし	合併後は富合地域を含む全市域を 対象として事業を実施する。
	1 熊本市・桂林市高校生交流事業 ・高校生による相互交流(隔年度訪問)		
市町別内容	2 熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業・高校生及び中学生による相互交流(隔年度訪問)・青少年交流団(高校生等)及びスポーツ交流団(中学生)		
内容	3 九州都市中学生交流事業 ・九州内の中学2年生による6都市合同交流(単年度派遣) (熊本・北九州・佐賀・大分・宮崎・鹿児島) 2泊3日の野外活動(熊本市:公立及び私立中から参加)		
	4 小学生福井市交流事業 ・小学6年生による相互交流(単年度訪問)		
	(H16 実績) 17,813 千円 (H17 実績) 11,664 千円 (H18 予算) 14,700 千円 *4 事業トータルの事業経費		

協議項	40 教育関係事業の取扱い	小項目名	3 青少年活動支援事業
調整方象	計 新市の事業として継続する		

調査	現	況	調整の具体的内容
市町名	熊本市	富合町	調金の共体的内存
市町別内容	青少年の豊かな人間性の育成のために、指導者を養成するとともに、青少年団体の活動を支援している。 1 指導者の養成 青少年指導者セミナー、キャンプリーダー講習会及び子ども会育成者講習会等の各種講習会を開催し指導者を養成するとともに、指導者を地域活動の場に派遣している。 (H16 実績) 1,501 千円 (参加者:416 人) (H17 実績) 1,434 千円 (参加者:428 人) (H18 予算) 1,500 千円 2 団体活動の支援 青少年団体の活動の活性化を図るため、補助金を交付するとともに、活動の指導助言を行っている。 (H16 実績) 2,350 千円 (H17 実績) 2,350 千円 (H17 実績) 2,250 千円 (H18 予算) 2,250 千円	該当なし	合併後は富合地域を含む全市域を対象として事業を実施する。

協議項目	40 教育関係事業の取扱い	小項目名	4 生涯学習推進事業
調整方針	新市の事業として継続する		

調査	現	況	調整の具体的内容
市町名	熊本市	富合町	過重の米体の出
	・ふれあい出前講座 行政機関、教育機関等の職員等が講師として地域に出向 き、業務の取り組みや事業・施策についての話や説明をする 講座を実施している。 H17 年度 3 0 3 回 平成 16 年度決算 210 千円 平成 17 年度決算 210 千円 平成 18 年度予算 280 千円	・該当なし	合併後は富合地域を含む全市域を 対象として事業を実施する。
市町別内容	・市民大学講座 市民の高度で専門的学習ニーズに応えるため、大学や関係 行政機関と連携を図りながら講座を開催している。 H17 年度 6 コース 平成 16 年度決算 611 千円 平成 17 年度決算 547 千円 平成 18 年度予算 300 千円	・該当なし	
	・ボランティア市民セミナー 温かい心の通い合う市民生活を目指し、ボランティア活動 を市民の生活に根付かせるためのセミナーを開催している。 H17 年度 1 講座 平成 16 年度決算 318 千円 平成 17 年度決算 158 千円 平成 18 年度予算 180 千円	・該当なし	

協議項目	40 教育関係事業の取扱い	小項目名	5 家庭教育推進事業
調整方針	新市の事業として継続する		

調査	現	調整の具体的内容	
市町名	熊本市	富合町	調金の共体的内存
市町別内容	・各種家庭教育講座の開催 乳幼児や小学生・中学生の子どもを持つ保護者を対象に、家庭や親のあり方、子どもの心身の成長、しつけ等家庭教育についての学習の機会を提供するもの。 平成17年度講座実施回数:323回 (乳幼児パパママ講座等:250回) 開催場所:小・中学校、保育園、幼稚園、コミセン、地域公民館等 平成16年度決算 2,226千円 平成17年度決算 1,656千円 平成17年度決算 1,800千円 *予算については、講師への報償費 (1回×6,000円)	・該当なし 該当なし 	合併後は富合地域を含む全市域を対象として事業を実施する。

協議項目	40 教育関係事業の取扱い	小項目名	6 スポーツ振興基金等
調整方針	新市の事業として継続する		

調査	現	況	調整の具体的内容
市町名	熊本市	富合町	調金の共体的内存
市町別内容	 ○スポーツ振興基金 ・条例 熊本市スポーツ振興基金条例 ・事業 ・顕彰 ・大会出場激励 ・大会招致及び開催支援 ・スポーツの普及及び啓発 ・実績(平成16年度) ・顕彰(熊本市スポーツ奨励賞) 個人10、団体5、指導者1 ・大会出場激励 個人7、団体7 ・実績(平成17年度) ・顕彰(熊本市スポーツ奨励賞) 個人7、団体1、指導者1 ・大会出場激励 個人8、団体3 ・平成16年度決算2,795千円 ・平成17年度決算1,448千円 ・平成18年度予算3,320千円 	該当なし	合併時から熊本市の制度を適用する。

協議項目	40 教育関係事業の取扱い	小項目名	7 総合型地域スポーツクラブの育成
調整方針	新市の事業として継続する		

調査	現	況	囲動の見けが中容		
市町名	熊本市	富合町	調整の具体的内容		
市町別内容	 ○総合型地域スポーツクラブの育成生涯にわたって、日常的にスポーツや健康づくりを行う多種目・多世代型の地域スポーツクラブの育成を図っている。 ・スポーツクラブ設置数・・・10 クラブ・準備中の地域・・・・・・・8 地域 ○スポーツリーダーバンク市民のスポーツ活動支援のために、指導者を発掘、育成、登録し、市民スポーツサークルや学校運動部活動へ派遣している。 ・H18 登録者数 480 人・H17 派遣者数 延べ 133 人 ※平成 16 年度決算 5,234 千円※平成 17 年度決算 5,020 千円 ※平成 18 年度予算 5,500 千円 	該当なし	合併後は富合地域を含む全市域、全市民を対象として事業を実施する。		

協	協議項目	40 教育関係事業の取扱い	小項目名	8 各種大会(開催)補助金
割	周整方 針	新市の事業として継続する		

調査	現	況	調整の具体的内容	
市町名	熊本市	富合町	- 調整の具体的内容	
市町別内容	◆名称 熊本市スポーツ各種大会の開催及び選手等の出場に関する補助金等交付要綱(大会開催) ◆算定基準額 補助対象経費の1/4に相当する額又は、 ・参加者数が1千人以上の場合は、全国大会が500千円、九州大会が300千円 ・参加者数が500人以上1千人未満の場合は、全国大会が400千円、九州大会が200千円 ・500人未満の場合は、全国大会300千円、九州大会100千円 (注)同一大会への運営補助は、最高3回で各年度1回とする。 ◆実績(平成16年度) 3,330千円 ◆実績(平成17年度) 4,000千円 ◆平成18年度予算 3,000千円		合併後は富合地域を含む全市域を対象として事業を実施する。	